



常陸太田市

議会だより

No. 143

平成28年2月25日

HITACHIOTA

発行 常陸太田市議会
常陸太田市金井町3690番地

●責任者 議長 深谷 秀峰
●電話 0294(72)3111(代)

●編集 広報委員会
FAX 0294(73)1119



汁ONEカップ2016

2月7日(日) お椀で食べる温かい創作汁物(汁椀)のナンバーワンを決める「汁ONEカップ2016」が常陸太田駅前で開催され、汁椀で温まる多くの人でにぎわいました。

■ 平成27年 第4回定例会 開催 ■

主 な 内 容

議案賛否一覧	2～3	常任委員会審査	9～10
議案質疑	4	議会運営委員会・議会日誌	10
一般質問	5～8	議会トピックス	11
請願・陳情	8	編集後記	12

第4回定例会

提案理由説明(要旨)



大久保 太一 市長

第4回定例会の提出議案は、条例の制定4件、一部改正4件、過疎地域自立促進計画の決定1件、公の施設に係る指定管理者の指定5件、平成27年度補正予算7件、合わせて21件で、一般会計補正予算は、介護事業者が定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を開設する費用に対する補助金、さとみ保育園と里美幼稚園の認定こども園

への移行に伴う教室等の改修費用、民間保育園に入所する園児の増加に伴う施設型給付費負担金、生活保護世帯の増加に伴う扶助費、市営住宅の空き室修繕費用などが主なものであり、1億4093万4千円を追加し、総額を244億8879万円とするものです。

第4回定例会 議案賛否一覧

△全員賛成で可決した議案▽

議案名			付託委員会	議決結果
議案第70号	常陸太田市認定こども園の設置及び管理に関する条例の制定について	文 民		
議案第72号	常陸太田市市税条例等の一部改正について	総 務		原案可決
議案第73号	常陸太田市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	文 民		原案可決
議案第74号	常陸太田市介護保険条例の一部改正について	文 民		原案可決
議案第75号	常陸太田市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部改正について	文 民		原案可決
議案第76号	常陸太田市過疎地域自立促進計画について	総 務		原案可決
議案第77号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	文 民		原案可決
議案第78号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	文 民		原案可決
議案第79号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	産 建		原案可決

△賛否の分かれた議案▽

議案第80号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	文	民	原案可決
議案第81号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	文	民	原案可決
議案第82号	平成27年度常陸太田市一般会計補正予算（第3号）について	総	務	原案可決
議案第83号	平成27年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	文	民	原案可決
議案第84号	平成27年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	文	民	原案可決
議案第85号	平成27年度常陸太田市下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	産	建	原案可決
議案第86号	平成27年度常陸太田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について	産	建	原案可決
議案第87号	平成27年度常陸太田市水道事業会計補正予算（第1号）について	産	建	原案可決
議案第88号	平成27年度常陸太田市工業用水道事業会計補正予算（第1号）について	産	建	原案可決
議員派遣について				原案可決

議 案 名					付託 委員会	審査結果																
議案第68号	常陸太田市個人番号の利用に関する条例の制定について	総務	原案可決	×	宇野 隆子	議決結果																
議案第69号	常陸太田市個人番号カードの利用に関する条例の制定について	文民	原案可決	×	高木 将																	
議案第71号	常陸太田市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	産建	原案可決	×	黒沢 義久																	
請願第4号	所得税法第56条廃止を求める意見書採択に関する請願（注1）	総務	不採択	×	後藤 守																	
					○		川又 照雄															
					○		福地 正文															
					○		茅根 猛															
					○		成井小太郎															
					○		高星 勝幸															
					○		菊池 伸也															
					○		益子 慎哉															
					○		平山 晶邦															
					○		深谷 涉															
					○		木村 郁郎															
					○		藤田 謙二															
					○		諏訪 一則															
					不採択		原案可決															

【○…賛成 ×…反対】

※議長の表決権…過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決が否決が決定することが出来る採決権が認められています。（注1）請願第4号は委員会において「不採択とすべきもの」と決定し、本会議においては委員会の審査のとおり「不採択とすべきもの」と決定すること」について採決されたため、請願に賛成する議員の賛否は×と表記されます。

議 案 質 疑

(第4回定例会)

問 議案第71号常陸太田市農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について、農業委員会法の改正により農業委員の選出方法が変更になり、これまでの公選制から市議会の同意を要件として市長の任命制となる。農業者の自主性を失わせるようなことにならないか、考えを伺いたい。

答 農業委員会事務局長 農業委員の選出方法は、候補者の推薦を求めるとともに公募を実施することになっており、その結果についても公表が義務付けられ、地域の担い手が透明なプロセスを経て確実に就任することとなるよう市議会の同意を要件とする仕組みになっており、農業者の自主性は保たれるものと考えている。

問 議案第81号常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について、西山研修所指定管理の説明会に参加した事業者数、指定管理料の決定過程、更に、今後協議される食料料金についてどのように検討されるのか伺いたい。

答 教育次長 説明会に参加した事業者は2者で、指定管理料については、平成25年度から27年度までの第1期指定管理期間の中で、実績の確定している平成25年度、26年度の赤字分等を踏まえ、収支全体を精査、検討し、積算したうえ指定管理料の上限額を設定している。今回、その上限額の範囲内で指定管理を希望する事業者が、5年間の収支計画に基づき指定管理料を算定し、申請してきたものである。食料料金の変更にについては、あらかじめ市教育委員会との承認を受けることになっているが、青少年の研修施設という性格上、できるだけ低廉に抑えるよう指定管理者と協議して参りたい。なお、食事については、利用者に喜ばれ安くて安心安全な食事を提供することを基本に、市内産の材料を使用し原材料費率を60%以上にして参りたい。



指定管理者が管理を行う西山研修所

問 議案第82号平成27年度一般会計補正予算の新宿西宮線事業化検討業務委託料について、事業化検討に向けた交通量の調査ということだが、現況と方針を伺いたい。

答 建設部長 新宿西宮線は、新宿町の通称国体道路と西宮町の国道349号バイパスを結ぶ全長1490メートル、幅員12メートルの都市計画道路である。これまでに国道349号バイパスから太田進徳幼稚園までの延長約1130メートルが完成しているが、進徳幼稚園より西側の約360メートル区間の用地取得が難航しているため、現在事業休止状態となっている。常陸太田駅前交差点の改良や日立笠間線の鯨ヶ丘トンネルの開通、国道349号バイパスの4車線化の進展等により周辺交通の状況に変化が生じており、更に国道293号常陸太田東バイパスが部分開通したことにより、機初団地方面か

らの交通量も増加傾向にあるなど、新宿西宮線と西バイパスをスムーズに接続する道路の必要性が高まっている。このため、事業化検討業務として交通量調査を4か所で行うものである。今後はこの結果を踏まえ、関係機関、地元関係者との協議を進めるなど早期事業化を図り、利便性が高く円滑で安全な交通体系の構築に努める。



事業化検討業務として交通量調査を行う新宿西宮線

一 般 質 問

平成27年第4回市議会定例会の一般質問は一問一答方式で行われ、7名の議員が登壇しました。(次ページから掲載)

※掲載内容は一般質問の一部を要約したものです。発言の詳細は3月中旬以降議会ホームページ・市図書館で公開する会議録をご覧ください。

藤田 謙二 議員

問1 市内の子育て支援団体について、生涯学習活動団体同様に組織化を図って登録制を導入し、子育て支援事業を実施するにあたり、公共施設を使用する場合の使用料の減免措置の新設を提案するが所見を伺いたい。

答1 保健福祉部長 公共施設の減免措置は各施設の減免制度に基づき実施しており、基本的な考え方としては公共性・公益性を有する事業内容の団体である。

問1 子育て支援団体の公共施設使用料の減免措置新設を
問2 防犯カメラ設置に向け設置基準や運用規程の作成を

ることが必要であるとしている。おのおのの子育て支援団体についても公共性・公益性が認められる利用であれば、新たな団体を組織せずとも今後各施設の減免制度の適用について検討して参りたい。

答2 総務部長 現在、設置基準等は設けていないが、市の公共施設には不審者・侵入者を監視するものが金砂郷支所・総合福祉会館・南消防署・佐竹小学校・瑞竜中学校・金砂郷中学校に、盗難・いたずら防止のためのものがJR常陸太田駅に、タバコ等のゴミ捨て防止のためのものが梅津会館屋外トイレ

問2 防犯抑止効果や万が一の事件解決にも、その有効性が評価されている防犯カメラであるが、近年は防犯に加えて監視という役割のウエートが大きくなっている状況を鑑み、設置基準

に、また、不正防止の目的で市本庁舎入口の証明書自動交付機に、全部で9施設に設置してある。防犯カメラは、安全で安心して暮らせるまちの実現には必要なものであり、その有用性を認識しているが、一方で撮影される個人のプライバシーを侵害することがないよう十分留意することも必要となることから、今後、設置及び運用の要項について検討し、小中学校・幼稚園及び人の出入りの多い施設等への設置に向けて調整して参りたい。

川又 照雄 議員

問1 エコミュージアム活動のこれまでの進捗状況と成果、今後の展開について伺いたい。

答1 教育長 エコミュージアム活動は、地域と行政がともに、資源、自然、歴史、文化遺産、景観、産業、文化活動などを地域の宝として見つめなおし、保護・保全を図りながら資源を活用して、地域力の再生、交流人口の拡大、生産や経済活動へと展開させ魅力ある新しい「まちづくり」

問1 エコミュージアム活動について
問2 河川の防災・減災について

問2 昨年9月に発生した鬼怒川堤防決壊は、常総市に甚大な被害をもたらした。河川の多い当市においても防災・減災の取り組みが求められるが、河川の防災の調査点検と茂宮川の※浚渫（しゅんせつ）について伺いたい。

答2 建設部長 市内の主要な河川の管理者は国・県と

堤防の亀裂や法面の崩れがないことを巡視、点検をし、管理している。茂宮川の浚渫については、地元の間会からも要望等を受けており、市としても地元町会の皆様と掘削土砂の処分地等を検討し、河道掘削の早期実現が図られるよう努める。

（※浚渫：水底の土砂をさらうこと。河川の流路を広げ、航路の水深を増し、また埋立のため土砂採取などの目的で行う）

の職員、委託業者、河川巡視員が

【川又 照雄 議員 質問事項】

- エコミュージアム活動について
- 安全安心なまちづくりについて
- 魅力ある学校づくりについて

【藤田 謙二 議員 質問事項】

- 子育て支援の強化について
- 安全安心なまちづくりについて
- 教育環境の向上について

諏訪

一則議員

問1

住宅改修・介護予防住宅改修等について

問1

住宅改修・介護予防住宅改修は、自立しやすい生活環境を整えるため段差の解消、手すり取付け等小規模な住宅の改修をした場合に20万円を利用額の

限度としているが、第5期計画の利用実績値は、ほぼ横ばいに推移している。補助限度額が少ないことや、補助制度に利用しづらい縛りがあるため、住宅改修にちゅうちよしているのではないかと考えるが、支給限度額について伺いたい。

答1

保健福祉部長 介護保険では、要介護認定を受けただ方に対し、在宅で生活をする際の転倒防止や安全確保を目的として、住宅の改修費用を介護保険から支給することが認められている。サービスを利用する場合は、

ケアマネージャーや理学療法士などの専門家に事前に相談し、身体状況などを考慮したうえで、改修部分について判断する必要がある。この支給対象となる改修は、被保険者の資産形成につながらないよう、また、住宅改修について制約を受ける賃貸住宅に居住する高齢者との均衡等を考慮し、支給限度基準額は全国共通で定額20万円とされており、利用者負担は1割ないし2割で、それを差し引い

た差額の18万円、もしくは16万円を介護保険で支給している。また20万円を超える住宅改修については、市の独自制度である「高齢者住宅リフォーム助成制度」により対応している。制度の周知については、ケアマネージャーへの周知、新規要介護認定者の方に案内をしており、今後も更に制度の周知に努める。

【諏訪 一則 議員 質問事項】

- 第6期常陸太田市高齢者福祉計画について
- 住宅改修・介護予防住宅改修等について

平山

晶邦議員

問1

学校施設検討協議会について

問1

本市の出生数は依然として厳しい状況が続いている。地域ごとの出生数格差もある状況の中で、これからの学校の在り方を検討し児童・生徒にとってより良い学校環境をつくり、実行に移していくことが必要であると考ええる。学校施設検討協議会の委員の構成や基本目標、今後のスケジュールについて伺いたい。

答1

教育長 児童・生徒が減少する中、本市においては1学年1学級の学校が全体の半数以上を占めている。また、児童・生徒が集団の中で多様な考え方に触れ、資質や能力を伸ばしていくという観点から「学校規模の適正化」が大きな課題となっている。そのような中、学校施設の在り方について検討を重ね、児童・生徒のより良い学習環境や生活環境、人間関係の構築など望ましい学校

づくりを進めるため「学校施設検討協議会」を設置した。委員は、町会長協議会や市PTA連絡協議会の代表など13名で構成した。協議として、学校区ごとの児童・生徒数、学級数の将来推計を検証しながら、小中学校の統合に関する検討や空調設備の導入について等の協議を進めている。学校の適正規模、適正配置の基本的な考え方は、1学級の人数については、クラス替えが可能となる20人から

30人程度とすること、複式学級はできるだけ避けること、小中一貫教育の検討を進めていくこと、各地区には小中学校1校ずつ存続させること等の意見をいただき協議を進めている。また、平成28年度中には、本協議会の考え方に基づいた学校施設整備計画を作成する。

【平山 晶邦 議員 質問事項】

- 学校施設検討協議会について
- 常陸太田市地域公共交通網形成計画について
- 常陸太田市公共施設等総合管理計画について
- 来年度予算編成に向けて事務事業の見直しについて

深谷

渉議員

問1

カードの交付に關して、窓口の体制と受渡し手順の具体的な対応方法を伺う。また、今後の普及促進について、本市のカードの独自利用を含め考えを伺いたい。

答1

市民生活部長 個人番号カードは広く本人確認書類として利用するため、成りすましなど不適切な個人番号カードの交付を防止する目的で、目視及び顔認証システムの利用による判定

問1 問2

万全の事務体制で個人番号カードの交付を
日常生活用具給付に大活字本の導入を求める

問2

を合わせて行い、確実に本人へ交付する体制を整える。
総務部長 独自利用については、この定例会で「証明書自動交付機への利用」に關し提案している。これ以外の独自利用については、先進の事例や現在の制度から切り替えた場合の費用対効果等を研究・検証し、行政サービスの向上につながるものへの活用について、業務の所管課や庁内プロジェクト会議等で検討していく考えである。

問2

来年4月に施行される障害者差別解消法は、「障がい者が直面する課題は障がい者自身の問題」とする従来の考え方を転換し、障がい者の社会参加を阻んできた社会の中にある差別的解消をめざすものである。そこで、弱視の人等の読書環境の障がいを取り除くには、活字が大きく読みやすい大活字本の普及が必要である。この大活字本の普及が「日常生活用具給付等事業」の対象にす

答2

保健福祉部長 国では、厚生労働省告示の日常生活用具参考例に大活字本を追記し、市町村へ給付に關し柔軟な対応を求めているので、当局としても、相談・要望等を踏まえ、適切に対応したいと考えている。

益子

慎哉議員

問1

今後、児童・生徒の減少に伴い、より複式学級が予測される学校への対応が求められるが、特に水府地区2校は、早急な対応が必要であると思われる。本年度は、再度学校施設検討協議会を設けて会議を重ねているようであるが、水府地区の小中一貫校について執行部の考えを伺いたい。

答1

教育長 水府地区においても、少子化の影響から児童・生徒が減少に伴い、子どもたちの数が今のまま推移すると水府小学校では平成28年度から、山田小学校においても平成31年度には複式学級、いわゆる一人の教師が2学年を担任する学級編制を実施せざるを得ない状況にある。基本的な考え方の一つとして、今後、統合の方向性が示された場合には、小中一貫教育も視野に入れて検討して参りたい。

問2

問1 問2

水府地区の小中一貫教育導入の考え方について
新たな地域コミュニティ組織と公民館の位置づけ

問2

新たな地域コミュニティは、公民館、地区社協、地区体育協会、地区老人会などを中心にした組織で成り立ち、特に公民館組織が大きいものだと思う。この組織の位置づけがうまくいかないと進まないように思うが、その点についての考えを伺いたい。

答2

市民生活部長 地域コミュニティにおける公民館の位置づけは、地域コミュニ

ティが設立された地区の意向を踏まえた上ではあるが、公民館が実施してきた事業は、地域コミュニティが自主的に実施する事業へと移行するものとして集約できる方向で庁内検討委員会において検討を進めている。また、そのほか、体育協会や社会福祉協議会などが実施している地域との結びつきのある事業についても、地域コミュニティへの集約の可否について検討を進めていく考えである。

【益子 慎哉 議員 質問事項】

- 教育行政について
- 新たな地域コミュニティの組織づくりと地域担当職員について
- 観光施設の指定管理について

【深谷 渉 議員 質問事項】

- マイナンバー制度について
- 教育行政について
- 障がい者福祉について

宇野 隆子 議員

問1

9月10日、鬼怒川で発生した水害は「わが自治体は大丈夫か」の問題提起をしている。堤防決壊を想定していなかったため自治体の対応が適切でなかったことや、市の危機管理体制、水害などの計画が不十分であったことが指摘されている。本市の普段の避難訓練や初期対応・避難指示後の対応、国交省との連携など、水害対策の強化について伺いたい。

答1

総務部長 洪水ハザードマップを作成し、全世帯へ配布している。また、各地区の自主

問1

豪雨水害「わが自治体は大丈夫か」

問2

子どもの貧困対策の充実で子どもに希望を

防災会の避難訓練等の実施に対し協力・支援している。職員の即応体制を整備するため「災害時における職員初動マニュアル」等を作成し、災害の可能性があるときには、職員の待機態勢をとっている。国交省との連携については国交省から直接、防災情報伝達されるが、常総市の水害を機に常陸工務所長と市長との「ホットライン」も再度確認されている。

問2

子どもの貧困率は16・3%、6人に1人となり深刻な数字

答2

教育長 給付型奨学金制度の実施予定はない。しかし、就学・卒業後Uターンなど市内居住

になった。子どもの貧困対策を更に充実していく必要がある。家計の状況にかかわらず教育が受けられるように給付型の奨学金制度を創設すること。福祉・学校・就労など、必要な手続きを一本化できる就労相談窓口を設置すること。また就学援助制度の対象費目をメガネ・コンタクトレンズ購入費、アルバム代にも拡大することを求める。子どもが希望のもてる施策の充実について伺いたい。

者、就職者を対象に、返還額の全額又は一部を助成する新たな奨学金制度の創設について検討している。就学援助については、来年度よりPTA会費なども新たに対象とすることで調整しているが、メガネ・コンタクトや卒業アルバムは対象とされていない。
保健福祉部長 就労相談窓口の一本化は時期尚早であり、関係機関、関係部署が連携を図ることにより、相談者等の声に沿った適時適切な対応・支援を行っていくことが大切であると考える。

請願・陳情

件名	提出者	結果
請願第4号 所得税法第56条廃止を求める意見書採択に関する請願	茨城県水戸市見川5丁目127-281 茨城県商工団体連合会婦人部協議会 会長 岡田 志乃婦 【紹介議員】宇野隆子	不採択
陳情第4号 沖縄米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情	沖縄県名護市辺野古932-26 名護市議会全議員代表 安城 安秀	報告

請願・陳情について

市民の皆さんの要望・意見を市政に反映させる方法として、請願や陳情があります。この制度を利用して、市政に対する要望・意見を直接議会に伝えることが出来ます。提出方法の詳細については、議会事務局へお尋ねください。

提出の仕方

1. 様式
請願書（陳情書）は、下記の様式を参考に作成してください。
2. 紹介議員（陳情の場合は必要ありません）
請願には、必ず1名以上の市議会議員の紹介を必要と

表紙

〇〇〇に関する請願

紹介議員 氏名
(署名又は記名押印)

内容

〇〇〇に関する請願

1. 請願の趣旨
2. 請願の理由

平成 年 月 日

請願者（代表）

住所

氏名

(外〇〇名)

常陸太田市議会議員

〇〇〇〇殿

3. 提出先
請願書は、請願者本人またはその内容に詳しい代理の方が市議会（議会事務局）へ提出（一部）してください。

書式例

【宇野 隆子 議員 質問事項】

- 災害対策について
- TPP「大筋合意」と常陸太田市農業への影響について
- 国民健康保険について
- 子どもの貧困対策について

産業建設委員会

産業建設委員会では、条例の制定1件、指定管理者の指定1件、補正予算4件、合計6件の審査を行い、付託された6議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第71号常陸太田市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定

問 新たに定められる農地利用最適化推進委員は農地に関する許認可に関わるのか伺いたい。

答 農地流動化、農地集積の推進と耕作放棄地の発生防止、解消について農家と密接に利用調整等の現場活動を行うなど、農地等の利用の最適化を図る役割を担うものであり、農地に関する許認可には関与しない。

議案第79号常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について

問 西金砂そばの郷、西金砂湯けむりの郷、物産センターこめ工房の経営状況を伺いたい。

答 平成26年度の収支で、西金砂そばの郷は収入3421万5466円、支出3167万2421円で254万3045円の黒字。西金砂湯けむりの郷は収入1億2057万

6987円、支出1億3866万7192円で1809万205円の赤字、物産センターこめ工房は収入2億1949万5984円、支出2億180万888円で1769万5896円の黒字である。

議案第86号常陸太田市水道事業会計補正予算（第1号）

問 浄水場の運転管理、工業計器保守点検業務の委託期間をこれまでの単年度から4年間に変更した理由と経費への影響を伺いたい。

答 安全、安心、安定給水の観点から価格だけでなく業務遂行能力を反映できるプロポーザル方式による受注者選定とし、原水の水質変動、施設及び浄水処理工程など技術的蓄積を必要とする業務の性質から、複数年契約が望ましいと判断したものである。運転管理と工業計器点検を一括で委託することで、年間約220万円の経費削減が見込まれる。



【委員会構成】

委員長 木村 郁郎
副委員長 成井小太郎
委員 益子 慎哉
委員 平山 晶邦
委員 黒沢 義久

議会運営委員会

10/21、11/20、12/4

第4回定例会の会期・日程等について協議

10月21日、第4回定例会の会期について協議、本会議に諮ることとし、「ひたちおたお知らせ版」及び市民バス各支所窓口へ掲示することとした。11月20日には12月定例会の運営について、日程、提出案件、議案等委員会付託、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の発言時間について。12月4日には一般質問通告者及び請願の取り扱いについて協議を行った。

委員長 藤田 謙二
副委員長 益子 慎哉
委員 高木 将
委員 福地 正文
委員 茅根 猛
委員 高星 勝幸
委員 深谷 渉
委員 木村 郁郎

議会日誌

10月5日 日本共産党千葉県長生郡市議団視察来庁
7日 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟現地視察（里美地区）、文教民生委員会
13日 県北市議会議長会定例会、総務委員会所管事務調査（岩見沢市・東川町・千歳市）
14日 新潟県加茂市議会議会運営委員会視察来庁
15日 埼玉県高市議会総務常任委員会視察来庁
16日 広報委員会、広島県呉市議会会派視察来庁
21日 議会運営委員会、全員協議会、フェリスブック勉強会
26日 文教民生委員会所管事務調査（恵庭市・当別町・石狩市）
27日 茨城県市議会議長会定例会、千葉県南房総市議会総務委員会視察来庁
28日 産業建設委員会所管事務調査（宗像市・古河市・福岡市）、福岡県中間市議会市民厚生委員会視察来庁
29日 愛媛県伊予市議会地方創生特別委員会視察来庁
30日 総務委員会協議会、文教民生委員会協議会、産業建設委員会協議会
11月4日 茨城県市議会議長会議員研修会
5日 愛媛県松山市議会公明党議員視察来庁
6日 茨城県境町議会議員視察来庁
13日 岐阜県多治見市議会会派視察来庁
17日 議会運営委員会、全員協議会
20日 本会議（開会・議案説明）、議会運営委員会、総務委員会協議会
12月4日 本会議（一般質問）
8日 本会議（一般質問）
7日 本会議（一般質問）、総務委員会協議会
10日 本会議（議案質疑）、文教民生委員会協議会
11日 総務委員会、総務委員会協議会
14日 文教民生委員会、中野区議会議員視察来庁
15日 産業建設委員会
17日 本会議（採決・閉会）



全国各地から行政視察にお越しいただいています。全国的議会では、議会活動や政策立案等に役立てるため、他自治体の先進的な取り組みを調査する

議会トピックス

月	来訪数	自治体名	主な視察項目
2月	2件	茨城県小美玉市議会 他	議会改革、少子化・人口減少対策
4月	1件	鹿児島県指宿市議会	少子化・人口減少対策
6月	1件	神奈川県大井町議会	子育て上手 常陸太田の取り組み
7月	2件	長野県東御市議会 他	子育て上手常陸太田の取り組み、議会報告会の開催
10月	7件	新潟県加茂市議会 他	少子化・人口減少対策、議会運営・議会中継
11月	3件	愛媛県松山市議会 他	人口減少時代の定住対策
12月	1件	東京都中野区議会	里まち連携事業の今後の展開について

行政視察が行われています。平成27年中には、全国から17の市町議会に常陸太田市を視察地として選定いただき、市が進める少子化・人口減少対策、観光振興の取り組みや、議会がこれまで行ってきた議会改革など、特色ある施策を視察いただきました。

市議会公式 Facebook ページ を開設

より多くの皆様に市議会の活動をわかりやすくお伝えし、興味を持っていただくため、常陸太田市議会公式 Facebook（フェイスブック）ページを開設しました。

市議会の活動やお知らせを中心に掲載していきますので、市民の皆様をはじめ、多くの方々の「いいね！」をお待ちしています！

● ページへのアクセス方法

QRコード対応のスマートフォンからは、右のQRコードを読み取って簡単にアクセスできます。



QRコードからアクセスできない時は、常陸太田市議会ホームページのリンクからアクセスください。

常陸太田市議会

検索



高校生が議会を傍聴しました

公職選挙法等の改正により、18歳から選挙権が付与され、今年の参議院選挙には多くの高校生も選挙に参加することになることから、市議会では、市内の高校に議会傍聴の働きかけを行いました。

12月定例会には、茨城県立太田第二高等学校の2年生70人が傍聴に訪れ、一般質問の論戦に真剣に耳を傾けました。



生徒の皆さんの感想

◆初めて市議会を傍聴して、市政に対して興味を持つようになりました。市議会では、まちづくりや教育環境、学校などといった自分たちが暮らすまちにとつて、とても大事なことを話していました。来年のためにもより政治に関心を持つて過ごしたいと思います。

◆議会を傍聴するのは初めてだったのでとても貴重な経験ができました。そして議会に興味を持つことができました。議会では、難しい言葉や内容に戸惑うことがありましたが、安心して日々を送れるのは、議長さんや議員さんや市の方々が議会でこんなやりとりをしているおかげなのだと思います。自分には無関係と思わず、市のことや政治のことを考えていきたいと思います。

◆初めて目の前で議会を見て、圧倒されました。議会では、議員さんの質問に対し、市長さんや部長さんが詳しく答えていました。議員さんの質問の内容も難しいものが多い中、少し理解できるものもあり納得したところもありました。来年のための貴重な経験となりました。

◆女性議員の方が、少ないことに驚きました。18歳になると選挙権が取得できるので、しっかりと勉強して、きちんと選挙に参加したいと思います。

◆難しい言葉が多く、細かい部分までは理解できませんでした。しかし、私たちの住むまちが、このような議会で見聞のやりとりをすることで、より素敵なまちに変化しているのだと感じました。自分の住むまちをしつかりと考えてくださる人がいることをうれしく思いました。18歳の選挙権を得るまでもっとしっかりと勉強して、議会の内容がすべて理解できる知識を身につけたいと思いました。

議会を傍聴しませんか!!

市議会の活動を目の前で見てみませんか?。12月定例会では、111人の方に議会を傍聴いただきました。会議の様子はどなたでも傍聴できますので、ぜひ傍聴にお越しください。

3月定例会会期日程(予定)

3月3日(木)	午前10時	開会・議案説明
7日(月)	午前10時	一般質問
8日(火)	午前10時	一般質問
9日(水)	午前10時	議案質疑
10日(木)	午後1時	総務委員会
11日(金)	午後1時	文教民生委員会
14日(月)	午後1時	産業建設委員会
15日(火)	午前10時	予算特別委員会
16日(水)	午前10時	予算特別委員会
18日(金)	午前10時	採決・閉会

編集後記

常陸太田市議会だより第143号では、第4回定例会の主な内容を掲載いたしました。議会だよりにおいては、議会の内容を、より分かりやすくお伝えするため、私達編集委員一同努力して参ります。

市民の皆様、なにより一層のご支援をお願い申し上げます。

発行責任者 深谷 秀峰
議長 廣報委員会 菊池 伸也
委員長 成井小太郎
副委員長 福地 正文
委員 高星 勝幸
藤田 謙二
木村 郁郎
深谷 渉

議会だよりに関するご意見・ご感想をお寄せください。
今後の本紙編集の参考とさせていただきます。

議会事務局 電話 0294 (72) 3111【内線 432】 E-mail gikaijimu2@city.hitachiotag.jp

